

# Next Organic Society

vol.5



食と同様に考えていきたい「生涯スポーツ」。『アウトドアフィットネス』という新しい概念を提案している株式会社 BEACH TOWN の CEO 黒野 崇さんにこれからのお話を伺ってきました。

画一化されたフィットネスジムではなく、アウトドアを利用した健康なカラダづくり

「病院やメディカルフィットネスセンターで、スポーツを通じて病気にならないカラダ作りをすると

いう仕事をしていましたが、ある時に壁にぶち当たったんです。」

と語る黒野さん。「壁」とは一体何でしょうか。それは多くの人が「継続できないこと」でした。あらゆる手段を試みるも「室内フィットネスクラブの運動では、生涯スポーツにはならない」と感じたと言います。しかしその後、ヨガやサーフィン、ロードバイクをはじめとする海外のビーチカルチャーや好きな黒野さんは「アウトドアを利用した生涯スポーツ」ならば人は楽しみながら続けていくことができるのではないかと強く感じます。「これこそが自分に課せられたミッションとさえ感じました。」と当時を振り返ります。

そして2007年、葉山で『BEACH』というアウトドアフィットネスクラブを設立します。海・スタジオと多彩なプログラムが充実しているこのクラブ、当初は150名ほどの会員を見込んでいたのですが、現在は500名を越えるまでになっています。これが『アウトドアフィットネス』のはじまりです。その後、全国で

8カ所のアウトドアフィットネスプロジェクトプロデュースを経て、昨年夏、東京都狛江市に高架下を活用したクラブ『BLUE』多摩川アウトドアフィットネスクラブをプロデュース。多摩川の見晴らしも良好な抜群のロケーションです。

「自分の命」「社会の命」「地球の命」という企業としてのミッション

アウトドアスポーツの魅力は「いくつになつても続けていけること」

なぜ人は継続できないのでしょうかとお聞きしました。

「数値化する（やせる、血圧を下げる等）ことだけがモチベーションで達成すると満足してやめてしまう。例えばサーフィンならば『もつとい波に乗りたい』だし、山ならば『もっと高い山に登りたい』といった欲求が出てきます。これもアウトドアスポーツの魅力でいくつになつても続けていきたいと思うようになるんです。」

つまり、楽しいから続けていくれるということ。景色が全く変わらないところで走り続けるよりも、風や太陽、草の匂いや波の音を生で感じることができる野外こそ、最高のジムであるという発想。そしてこれが特別なことではなく、日常生活に根付くことで人は健やかなカラダづくりができるということです。

その土地にあるものを大切にしたクラブづくり



BEACH HAYAMA http://www.beach-hayama.com  
BLUE TAMAGAWA http://www.blue-tamagawa.jp  
株式会社 BEACH TOWN http://www.beachtown.co.jp

舞い込みます。

「ありがとうございます。しかし、土が違ひ、育つ野菜が違うようにその土地特有なものが必ずあります。海が綺麗な街もあるんです。海が綺麗な街もあ

うようにその土地特有なものが必ずあります。海が綺麗な街もあ

うことです。海が綺麗な街もあ

ひとつ丁寧にプロデュースしていかないといいクラブはできません。ローカルフード、地産地消の考え方と似ています。そこにある自然を利用してることで住む人たちが健

康になつていくというプロセスをとっても大切に考えています。身の回りにあるものを大事にするといふ考え方ですね。自分たちが住んでいる街を良くすることで街の価値も上がります。」

ビーチタウンという企業がひとりのライフスタイルに変化をもたらし、地域社会が変わり始めるています。

「國民の3%がフィットネスをし、6%がランニングをし、ヨガ人口は1700万人を越えています。人気傾向にあるフィットネスシーン、『BEACH』や『BLUE』は人気のクラブ故、FC化の話も

写真・文／戸田 駿一郎（とだ・こういちろう） イベントプランナー＆デザイナー。ベジでオーガニックなマルシェ『Vege&Fork Market』を主催・運営。今夏よりキャンプイベント『Vege&Fork CAMPING』や芝生の上のリラクゼーションイベント『Air Green』などを立ち上げる。妻と自宅に工房を作り、100%植物性スイーツのケータリングやデリバリーフードサービスも展開中。趣味はサーフィン、ヨガ、ランなど。神奈川県の藤野にある畑で自然栽培の野菜を作るのも好き。ブログは毎日更新中！ TODAKOICHIRO.COM